
ARCHIVES



日本体育施設株式会社

TOPICS

2017

- topics01 ユアテックスタジアム仙台が『Jリーグ・ベストピッチ賞』を受賞
— 当社が管理する施設で3年連続受賞 —
- topics02 上高田運動施設テニスコート改修工事が完成
— テニスコートサーフェス「スマートクレイ」採用 —
- topics03 「エクストラグラス」、国内初サッカーフルピッチで導入
— レッズランドに堂々完成 —
- topics04 2021年国体会場 サブトラックで「レオタンαエンボス」採用
— 三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場補助競技場 —

2018

- topics01 公益財団法人日本スポーツ協会とオフィシャルサプライヤー契約
— 私たちは日本スポーツ協会のスポーツ振興を応援しています —
- topics02 全米オープン仕様のテニスコート20面を施工
— 五輪会場と揃えたブルーの濃淡 —
- topics03 日本から発信する投てき実施可能な人工芝「スポーツターフΛ」
— 日本陸上競技連盟ルール改正ですべての公認競技場に対応 —
- topics04 廃校活用でボールパークを整備
— 環太平洋大学 (IPU) 和気ベースボールパーク完成 —

2019

- topics01 福島県営あづま球場完成
— 東京五輪 野球・ソフトボール会場 —
- topics02 町田市鶴間公園再整備のグラウンド工事が完成
— 2019年11月より指定管理者として管理運営を開始 —
- topics03 昭和電工ドーム大分でラグビーW杯試合開催
— ロールタイプのハイブリッド芝『エクストラグラスR』を導入 —
- topics04 第2回スポーツファシリティーズ大賞を受賞
— 投てき実施可能な人工芝『スポーツターフΛ』 —

2020

- topics01 盛岡南公園野球場（仮称）整備事業、始動
— BTO方式によるPFI事業に参入 —
- topics02 宮城スタジアムを全面リニューアル
— 2年半にわたる芝生の圃場整備、育成を経てフィールドが完成 —
- topics03 国立競技場のトラック・フィールド工事を施工
— 2019年11月、竣工 —
- topics04 松戸運動公園陸上競技場の改修工事が完成
— 投てき実施可能な人工芝『スポーツターフA』を使用した日本陸連第3種公認競技場 —

2021

- topics01 日本体育施設株式会社は、創立50周年を迎えました
— 記念事業として、JSPOフェアプレイスクールの開催へ協力 —
- topics02 札幌市円山競技場の改修工事が完成
— 環境対応型ウレタン舗装材『レオタンαエンボスSF』を導入 —
- topics03 相模原スポーツ・レクリエーションパークの人工芝グラウンドが完成
— 相模総合補給廠共同使用区域内に整備 —
- topics04 第4回スポーツファシリティーズ大賞 受賞
— 器具・機材部門でハイブリッド芝システム『エクストラグラスR』が受賞 —

2022

- topics01 令和4年度第38回都市公園等コンクール(一社)日本公園緑地協会会長賞 受賞
— 材料・工法・施設部門で環境対応型舗装材『レオタンαエンボスSF』が受賞 —
- topics02 Ankerフロントاون生田の新設工事が完成
— 自然素材の充填材を用いた人工芝ピッチなどのスポーツ施設を整備 —
- topics03 環境省の令和3年度環境技術実証事業 (ETV) で性能実証
— 微細ミストを発生させ暑熱環境を緩和する『フィールド冷却細霧システム』 —
- topics04 ヤンマースタジアム長居のリニューアル工事が完成
— 『レオタンαエンボス』による切削・オーバーレイでリニューアル —

topics 01

ユアテックスタジアム仙台が『Jリーグ・ベストピッチ賞』を受賞

— 当社が管理する施設で3年連続受賞 —



Jリーグ・ベガルタ仙台のホームスタジアムである『ユアテックスタジアム仙台』が、2016Jリーグアウォーズにおいて、『Jリーグ・ベストピッチ賞』を受賞しました。ユアテックスタジアム仙台は初の受賞、当社としては2014年、2015年の北九州市本城公園陸上競技場の受賞に引き続いて3年連続の栄誉となりました。また、寒地型芝(冬芝)、暖地型芝(夏芝)双方での受賞は初の快挙です。

ユアテックスタジアム仙台は、仙台市公園緑地協会・日本体育施設グループ、本城公園は、日本体育施設・安川ビルサービス(スポーツパークパートナーズ本城)が指定管理者として管理を行っており、芝生は、当社スポーツターフ管理グループの専門スタッフが、維持管理しております。高く評価していただいた誇りを胸に、スタッフ一同さらに努力を重ね、これからも、選手やサポーターの皆さんに喜んでいただけるピッチをご提供して参ります。



※Jリーグベストピッチ賞
Jリーグクラブのホームスタジアムのうち、特にピッチの品質が優秀と認められたスタジアムにJリーグチェアマンから贈られる賞です。

topics 02

上高田運動施設テニスコート改修工事が完成

— テニスコートサーフェス「スマートクレイ」採用 —



東京都中野区上高田運動施設に「スマートクレイ」のテニスコートが完成しました。

褐色のコートは全仏オープン会場のレッドクレイコートと同じ色彩です。「スマートクレイ」は、メンテナンス面のデメリットを克服し、レッドクレイコートのプレイ感を再現したサーフェスです。特殊ウレタン樹脂で被覆された「カラーコートサンド」によりソックスが赤く染まらず、より手軽なレッドクレイコートとして注目されています。この施設は、日本体育施設(株)グループが指定管理者として運営管理を行い、新たなサーフェスを楽しむ来場者でにぎわっています。



SMART CLAY

.....

■スマートクレイ
「スマートクレイ」は、排水性の高いカーペットを採用し、降雨後は速やかにコートのコンディションが回復する。衝撃吸収性の高いカーペットに「カラーコートサンド」を敷き詰めた構造で、適度な滑りを実現。

topics 03

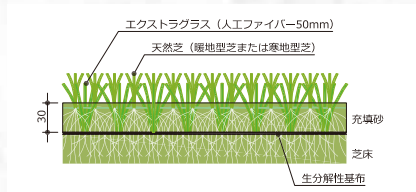
「エクストラグラス」、国内初サッカーフルピッチで導入

— レッズランドに堂々完成 —



浦和レッドダイヤモンドズ(株)が運営する「レッズランド」(さいたま市)で国内初のサッカーフルピッチにハイブリッド芝『エクストラグラス』が導入されました。この試みは、浦和レッドダイヤモンドズ(株)と(株)アストロとの3社共同プロジェクトとして行われました。

導入後に行われたJユースカップでは、大きなディボットがなく損傷に対する強さを示しました。強度と耐久性の向上が、天然芝のプレイ感と美しさに加わり、さらなる利用増加が見込まれています。ローテーションの激しいメガスポーツイベントに向けてハイブリッド芝が注目を集めています。



■エクストラグラス

天然芝と人工芝を組み合わせたハイブリッド芝。特殊製法(ウィービング製法)で生分解マットに編込んだ人工芝が、天然芝の保護材として機能する。

topics 04

2021年国体会場 サブトラックで「レオタンαエンボス」採用

— 三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場補助競技場 —



伊勢神宮内宮の北側に位置する、三重交通Gスポーツの杜伊勢(三重県営総合競技場)に、第3種公認の補助競技場が完成しました。以前の補助競技場は、1周が300mの第4種公認の施設でしたが、第1種公認陸上競技場の基本仕様に合致するよう、第3種公認競技場が整備されました。トラックの舗装材は、国際陸上競技連盟(IAAF)認証舗装材『レオタンαエンボス』です。当競技場は、2021年に開催される第76回国民体育大会の会場となる予定です。



■レオタンαエンボス

快適な走行感が得られる「ローラーエンボス仕上げ」のウレタン舗装材。耐久性に優れ、競技レベルや年齢によらず、記録向上性が高い舗装材。

topics 01

公益財団法人日本スポーツ協会とオフィシャルサプライヤー契約

— わたしたちは日本スポーツ協会のスポーツ振興を応援しています —



日本体育施設（株）は
日本スポーツ協会のスポーツ振興を応援しています



日本体育施設は公益財団法人日本スポーツ協会と「JSPOスポーツ・アクティブ・パートナー・プログラム」のオフィシャルサプライヤーとして協賛契約を締結しました。「JSPOスポーツ・アクティブ・パートナー・プログラム」は、公益財団法人日本スポーツ協会との良好なパートナーシップのもと「スポーツによる元気な日本社会（人づくり・地域づくり・国づくり）」を目指す協賛プログラムです。

トップアスリートからスポーツ愛好家、こどもから高齢者、一人でも多くの人々がスポーツの喜びを享受できる施設づくりが、施設の建設を担う私たちの使命です。この協賛プログラムを通じて生涯スポーツの振興に寄与して参ります。

topics 02

全米オープン仕様のテニスコート20面を施工

— 五輪会場と揃えたブルーの濃淡 —



札幌市平岸配水池の耐震化改修に伴い、地下配水施設の上に北海道内最大となるテニスコート20面を施工しました。舗装材は全米オープンと同じ「デコターフ」、配色は東京五輪の会場に揃えてブルーの濃淡が採用されました。施設は国際基準のコートとして関心を集めています。

完成に際し札幌市水道事業管理者水道局長より感謝状（下・中）をいただき、札幌テニス協会創立80周年記念式典において表彰（下・右）を受けました。この事を誇りに、今後も技術の研鑽に励み、テニス競技の発展に貢献できるよう取り組んで参ります。



.....
■ 平岸庭球場（北海道札幌市）
センターコート1面、サブコート1面、練習用テニスコート18面、壁打ちコート1/2面。

topics 03

日本から発信する投てき実施可能な人工芝「スポーツターフΛ」

— 日本陸上競技連盟ルール改正ですべての公認競技場に対応 —



‘18年4月のルール改正より、日本陸上競技連盟 (JAAF) が公認規程に「投てき実施可能な人工芝」の使用を盛り込み、「スポーツターフΛ」が第1種～第4種公認競技場で採用できるようになりました。「スポーツターフΛ」は、世界で初めて砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、全ての投てき種目に対応した人工芝です。また球技にも適した性能があり、天候に左右されずインフィールドを多目的に利用することができます。この人工芝は、国外にはない日本発の先進技術として注目されています。

‘18年5月新たにこの人工芝を採用したセナリオハウスフィールド三郷が完成しました。



投てき実施可能な人工芝 スポーツターフΛ

■セナリオハウスフィールド三郷 (埼玉県三郷市)
日本陸連第4種公認陸上競技場。インフィールド舗装は「スポーツターフΛ」、トラック舗装はローラーエンボス仕上げの「レオタンαエンボス」。

topics 04

廃校活用でボールパークを整備

— 環太平洋大学 (IPU) 和気ベースボールパーク完成 —



廃校になった小学校と隣接する町営グラウンドを改修し、野球部、陸上部の練習施設が完成しました。

体育館は人工芝舗装の室内練習場 (下・左) に、プールは屋根をつくり投球ブルペン (下・右) に改修しました。また、校庭にはノックができる外野練習場、旧小学校に隣接する空地には投てき練習場を整備しました。さらに、クレイ舗装だった町営野球場を外野全面人工芝のメイン球場へ、町営テニスコートを人工芝舗装の内野練習場に改修しました。

野球場における舗装や防球ネット、設備等のグラウンドづくりの技術が廃校活用事業に活かされています。



■環太平洋大学 (IPU) 和気ベースボールパーク (岡山県和気町)
敷地面積約4.59haを大学体育会専用施設として整備。

topics 01

福島県営あづま球場完成

— 京東五輪 野球・ソフトボール会場 —



2018年10月より始まった工事にて、天然芝のグラウンドから、全面人工芝のグラウンドに改修しました。また、ブルペンや室内練習場もリニューアルしました。

あづま球場は、東日本大震災からの復興の象徴として、東京五輪の野球・ソフトボールの競技会場となります。野球・ソフトボールともにオープニンググラウンドはあづま球場からスタートします。

■福島県営あづま球場（福島県福島市）

写真/上：全景（野球）、左下：全景（ソフトボール）

右下：ベース周辺部はアンツーカ舗装



topics 02

町田市鶴間公園再整備のグラウンド工事が完成

— 2019年11月より指定管理者として管理運営を開始 —



東京都町田市鶴間公園のテニスコート、グラウンド、ふれあい広場、走路の再整備工事が完成しました。テニスコートは天候に左右されない砂入り人工芝舗装、またサッカー、フットサルと少年野球施設を備えたグラウンドにはロングパイル人工芝舗装が整備されました。グラウンドの外周走路と遊具の下に使用されている舗装材は、従来のチップより強度の高いTPVチップを使用した高強度カラーチップ舗装です。

また2019年11月1日から公園は、石勝エクステリアと東急スポーツシステム、日本体育施設により構成された『TSURUMAパークライフパートナーズ』が指定管理者として管理運営を開始しました。

■鶴間公園（東京都町田市）

写真/上：グラウンド全景、左下：芝生広場外周走路

右下：プレイグラウンド全景



topics 03

レゾナックドーム大分でラグビーW杯試合開催

— ロールタイプのハイブリッド芝『エクストラグラスR』を導入 —



2019年9月より開催されたラグビーW杯の大分会場、レゾナックドーム大分でロール型ハイブリッド芝『エクストラグラスR』が導入されました。三重県で育成された芝は、8月末に保冷ウイング車にて運ばれました。暖地型芝ベースのハイブリッド芝の実績として注目を集めています。

『エクストラグラス』は、人工ファイバーとメッシュ状の基布に天然芝の根と地下茎が絡みつくハイブリッド芝システムです。生分解性基布に編込まれた人工ファイバーに、暖地型芝の場合は苗芝まき、寒地型芝の場合は播種により天然芝を施工します。人工芝と強く一体化することで、健全で損傷に強い芝生を実現します。



写真/上：レゾナックドーム大分（当時：昭和電工ドーム大分）（大分県大分市）

左下：エクストラグラスR圃場（三重県鈴鹿市）

topics 04

第2回スポーツファシリティーズ大賞を受賞

— 投てき実施可能な人工芝『スポーツターフΛ』 —



従来の人工芝は、陸上競技の投てき種目を行う時にやりが刺さらない、落下の痕跡が残らない等の理由で投てきを行う陸上競技場には使用することができませんでした。『スポーツターフΛ』はこの課題を解決したことが評価され、第2回スポーツファシリティーズ対象【器具機材部門】公益財団法人日本体育施設協会会長賞を受賞しました。

■スポーツターフΛ（ラムダ）

陸上競技の投てき種目に対応した投てき実施可能な人工芝。一般的な人工芝に比べてパイルが長く充填層が厚いため、やりが刺さっても人工芝の基布を傷めない。また、投てき物が落下後に大きくバウンドして周囲に危険を及ぼすことがないように衝撃吸収性に優れた充填の構造。落下の衝撃に対する耐久性と安全性を備えて、排水性が良好で修復も容易。さらに、日本サッカー協会（JFA）のロングパイル人工芝ピッチ公認規程に定める製品検査を完了し、JFA公認施設へ導入が可能。



投てき実施可能な人工芝
スポーツターフΛ

topics 01

盛岡南公園野球場(仮称)整備事業、始動

— BTO方式によるPFI事業に参入 —



提供：盛岡南ボールパーク(株)



提供：盛岡南ボールパーク(株)



提供：盛岡南ボールパーク(株)

盛岡南公園野球場(仮称)は、両翼100m、中堅122m、内外野とも人工芝の本格的な野球場と室内練習場、子どもたちも楽しめる「キッズスタジアム」等により構成された多目的なボールパークです。2020年3月に事業契約を締結し、日本体育施設(株)は事業を遂行する目的で設立された特別目的会社(SPC)「盛岡南ボールパーク株式会社」の構成企業の一員として活動して参ります。

- 盛岡南ボールパーク株式会社
- 代表企業 清水建設株式会社東北 支店
- 構成企業 株式会社久慈設計
- 構成企業 菱和建设株式会社
- 構成企業 株式会社フクシ・エンタープライズ
- 構成企業 日本体育施設株式会社
- 構成企業 第一商事株式会社
- 協力企業 株式会社環境デザイン研究所

.....
■ 盛岡南公園野球場(仮称)(岩手県盛岡市)
写真/上: 球場全景、左下: 公園全景、右下: 室内練習場
全て画像の提供は盛岡南ボールパーク株式会社

topics 02

宮城スタジアムを全面リニューアル

— 2年半にわたる芝生の圃場整備、育成を経てフィールドが完成 —



宮城スタジアムの芝生フィールドは、2001年の開場以来の全面改修となりました。張替に用いた芝生は、東日本大震災の被災地に整備した生産圃場で育成した芝生です。寒地型芝3品種の混合です。まず2017年10月より芝生の生産圃場を整備し、翌年4月に播種して育成管理を開始しました。その後、2019年10月に圃場から切り出し、スタジアムへ運搬して芝張を行いました。圃場整備から芝張、初期養生、管理まで、2年6か月間にわたりスポーツターフの育成、施工、管理のノウハウを投入して携わりました。トラック走路は2019年6月に着工し、全天候型ウレタン舗装材『レオタンαエンボス』の切削・オーバーレイと競技施設整備を2020年3月に完了しました。復興の象徴として、サッカーの国際試合が心待ちにされています。

.....
■ 宮城県総合運動公園宮城スタジアム(宮城県利府町)
写真/上: 全景、左下: 芝張状況、右下: 芝生圃場(山元町)

topics 03

国立競技場のトラック・フィールド工事を施工

— 2019年11月、竣工 —



写真提供：大成建設(株)



写真提供：大成建設(株)

日本体育施設(株)は、新しく生まれ変わった国立競技場のトラック・フィールド工事を担当いたしました。今後、国立競技場で開催されるさまざまなスポーツイベントで、アスリート達がベストパフォーマンスを発揮し、スポーツ界が益々発展することを心より願っております。

.....
■国立競技場(東京都新宿区)
写真/左：フィールド全景、右上：航空写真
全て写真の提供は大成建設株式会社

topics 04

松戸運動公園陸上競技場の改修工事が完成

— 投てき実施可能な人工芝『スポーツターフΛ』を使用した日本陸連第3種公認競技場 —



2020年7月に、松戸運動公園陸上競技場の日本陸連第3種公認更新に伴う改修工事が完成しました。トラック舗装には全天候型ウレタン舗装材『レオタンαエンボス』のブルー、夏季の熱中症対策として『フィールド冷却細霧システム』が採用されました。また、インフィールド舗装は投てき実施可能な人工芝『スポーツターフΛ(ラムダ)』です。

『スポーツターフΛ』は、日本陸連指定検査機関の製品検査適合製品です。「投てき実施可能な人工芝」は、日本陸連の2018年のルール改正から、全ての公認競技場におけるインフィールドでの使用が可能になりました。



.....
■松戸運動公園陸上競技場(千葉県松戸市)
写真/上：フィールド全景、左下：走路
右下：フィールド全景(冷却細霧システム使用状況)

topics 01

日本体育施設株式会社は、創立50周年を迎えました

— 記念事業として、JSPOフェアプレースクールの開催へ協力 —



日本体育施設株式会社は、2021年5月10日に創立50周年を迎えました。これはひとえに、これまで様々なかたちで当社を支えてきてくださった皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。

50周年を記念し、スポーツを通じた社会貢献活動として、当社がオフィシャルサプライヤーを務める日本スポーツ協会主催の「JSPOフェアプレースクール」事業に寄付をさせていただきました。

50周年を当社の「節目」と位置づけ、日本体育施設ならではの新しい企業価値の創造を目指して参ります。今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

.....

■JSPOフェアプレースクール

日本を代表する(元)トップアスリートが自分の体験したフェアプレイエピソードやフェアプレイ運動遊びを通じて、フェアプレイの大切さを伝える授業。全国の小中学校・特別支援学校を対象に毎年実施されている。当社50周年記念事業の寄付により製作された応援楯が、「フェアプレイの象徴」として実施した各学校に展示された。

写真/上 : フェアプレースクール第1回目開催の様子

左下: 寄付により製作された応援楯



NTS 日本体育施設

日本体育施設は、日本スポーツ協会の
オフィシャルサプライヤーです

topics 02

札幌市円山競技場の改修工事が完成

— 環境対応型ウレタン舗装材『レオタンαエンボスSF』を導入 —



環境対応型ウレタン舗装材『レオタンαエンボスSF』を導入した札幌市円山競技場の改修工事が2021年11月に完成しました。

『レオタンαエンボスSF』は、労働安全衛生法特定化学物質障害予防規則(特化則)非該当のウレタン舗装材です。従来のウレタン舗装工事では、作業する人の健康を守るため、作業主任者の選定など特化則に基づく取扱いが必要でしたが、『レオタンαエンボスSF』は特化則の規制を受けずに安全に作業を行うことができる、人と環境にやさしい舗装材です。

.....

■札幌市円山競技場(北海道)

400mトラック8レーンの日本陸連第2種公認競技場

写真/上 : 航空写真、左下: スタート部

右下: ウレタン舗装施工状況



topics 03

相模原スポーツ・レクリエーションパークの人工芝グラウンドが完成

— 相模総合補給廠共同使用区域内に整備 —



在日米陸軍相模総合補給廠（ほぎゅうしょう）の共同使用区域内に整備された総合運動公園である相模原スポーツ・レクリエーションパークの人工芝グラウンド。

当社は、日本体育施設・入江建設共同企業体の代表企業として工事に携わり、2021年3月に工事が完了しました。グラウンドには、サッカーやラグビー、アメリカンフットボール、8人制サッカーコートがレイアウトされています。コートサイドには、ブルーの芝のウォーミングアップゾーンがあります。人工芝舗装は、ツートンカラーのロングパイル人工芝とクッション性に優れたアンダーパットの組み合わせです。また、グラウンドを囲む外周園路やインターロッキング舗装、点字シート等の工事も施工しました。

.....
 ■相模原スポーツ・レクリエーションパーク
 人工芝グラウンド（神奈川県）
 写真/上：航空写真、左下：人工芝グラウンド
 右下：園路舗装

topics 04

第4回スポーツファシリティーズ大賞 受賞

— 器具・機材部門でハイブリッド芝システム『エクストラグラスR』が受賞 —



当社の製品である『エクストラグラスR』が、公益財団法人日本スポーツ施設協会主催の第4回スポーツファシリティーズ大賞 [器具・機材部門] において、日本スポーツ施設協会会長賞を受賞し、当社は第2回に続き2回目の受賞となりました。

ロールタイプのハイブリッド芝『エクストラグラスR』は、2019年に開催されたラグビーW杯の開催会場の一つである昭和電工ドーム大分で導入され、「ラグビーのスクラム時の集中荷重にも耐える事が可能であること」、「シートタイプの補強材（人工芝）によって長期にわたって平坦性や均一性を保つことが可能であること」が評価され受賞しました。

.....
 写真/上：昭和電工ドーム大分、左下：表彰状
 右下：ロールタイプのハイブリッド芝
 『エクストラグラスR』



令和4年度第38回都市公園等コンクール(一社)日本公園緑地協会会長賞 受賞

— 材料・工法・施設部門で環境対応型舗装材『レオタンαエンボスSF』が受賞 —



当社が材料メーカーと共同開発し、札幌市円山競技場で導入された環境対応型ウレタン舗装材『レオタンαエンボスSF』は、特定化学物質MOCAを含まない、材料の製造や施工に携わる人の健康に配慮した舗装材です。この開発成果が評価され、令和4年度第38回都市公園等コンクールで(一社)日本公園緑地協会会長賞を受賞しました。令和4年10月28日(金)に「ひろげよう、育てよう、みどりの都市」全国大会にて表彰式が行われ、北海道営業所の甲斐所長が出席いたしました。

また『レオタンαエンボスSF』を導入した香川県立丸亀競技場(Pikaraスタジアム)が令和4年7月、彦根総合スポーツ公園陸上競技場(平和堂HATOスタジアム)が令和4年12月に完成しました。



.....
■札幌市円山競技場
 400mトラック8レーンの日本陸連公認競技場
 右下: 右・奥会長 中・甲斐所長 左・越後社長

Ankerフロントاون生田の新設工事が完成

— 自然素材の充填剤を用いた人工芝ピッチなどのスポーツ施設を整備 —



Ankerフロントاون生田は、川崎フロンターレによって整備された総合スポーツ施設で、令和5年3月25日(土)にグランドオープンを迎えました。施設内には、川崎市上下水道局により生田多目的広場とふれあい広場が一体的に整備されています。この施設は、川崎フロンターレが新しいコミュニケーションの形を提案する「かわさきフロントاون構想」の拠点です。

当社では、自然素材の充填材を用いた人工芝ピッチをはじめ『フィールド冷却細霧システム』、クレイ舗装、防球ネット、LED照明、屋内施設のサーフェイスや各種競技施設を施工しました。

.....
■Ankerフロントاون生田(川崎市)
 人工芝のサッカーピッチ2面、屋内テニスコート3面、屋外テニスコート3面、バスケット、フットサル、バレーコートのあるアリーナなどを有する総合スポーツ施設
 左下: 防球ネットやLED照明柱はライトブルーの支柱を使用
 右下: 自然素材の充填材を用いた人工芝



topics 03

環境省の令和3年度環境技術実証事業(ETV)で性能実証

— 微細ミストを発生させ暑熱環境を緩和する『フィールド冷却細霧システム』 —



『フィールド冷却細霧システム』の性能が、令和3年度の環境省環境技術実証事業(ETV)の気候変動対策技術領域における、熱中症対策技術区分において実証され、その成果が令和4年に公開されました。

ETVは、既に市場で利用・販売されているが環境保全効果などについて客観的評価がなされていない技術について、環境省が選定した実証機関が客観的に試験を行うなどによりその効果を実証し、環境関連技術の普及や関連産業の発展を促す事業です。

フィールド冷却細霧システム



■フィールド冷却細霧システム
フィールド上に微細ミストを漂わせ、蒸発時の冷却効果を利用して、フィールドの暑熱環境をコントロールするシステム。ミストノズルはゴム製のカバーを取り付け、プレイヤーの安全性を確保。
右下: 実証実験の様子

topics 04

ヤンマースタジアム長居のリニューアル工事が完成

— 『レオタンαエンボス』による切削・オーバーレイでリニューアル —



日本陸上競技選手権大会(日本選手権)や日本グランプリシリーズが開催される日本を代表する陸上競技場ヤンマースタジアム長居の改修工事が令和5年3月に完成しました。トラック走路、助走路、アウトフィールド全面を走行性と耐久性に優れたウレタン舗装材『レオタンαエンボス』を使用して、切削・オーバーレイ工法でリニューアルしました。

5月6日(土)・7日(日)に開催された第10回木南道孝記念陸上競技大会では、数多くの大会新記録が生まれました。

そして、8月にブタペストで開催される世界陸上競技選手権大会の代表選考会となる日本選手権も6月に開催されました。

■ヤンマースタジアム長居(大阪市)
400mトラック9レーン
日本陸連公認、WA(世界陸連)認証競技場

日本体育施設